

**2026年3月期 第2四半期  
決算発表 質疑応答****(受注)**

**Q 1. 通期受注計画6,200億円の達成見通しについて教えてください。**

A 1. 上期は、エリアの中心部シフトの影響により前年を下回りましたが、8月以降は前年並みに回復しています。例年2～3月はキャンペーンなどの施策により営業が活性化することを踏まえると、目標6,200億円の達成も可能と考えています。

**Q 2. エリア別の受注動向と戦略について教えてください。**  
(決算説明会資料 p57)

A 2. 中心部シフトにより、一部エリアでは受注が減少しましたが、その分、関東や三大都市圏を中心に営業リソースを配分することで、受注拡大を図ってまいります。

**Q 3. 賃貸住宅の不動産販売（開発販売方法）について教えてください。**  
(決算説明会資料 p19)

A 3. 当社資金で土地を仕入れ、建築後に販売する、開発型の賃貸住宅の供給が増えてきています。販売は都内が中心で、ファンドやオーナー様などにご購入いただいています。今後も賃貸住宅の新たな販売手法として、今後は四半期の決算説明会で実績の開示を行う予定です。

**(完成工事高・完成工事総利益)**

**Q 4. 当期の完成工事総利益率の見通しについて教えてください。**  
(決算説明会資料 p7)

A 4. 上期は、木造物件を前倒して完工したことにより、計画を上回る24.8%となりました。今後の原価動向にもよりますが、現時点では下期で25.2%、通期で計画通り25.0%の総利益率となる見通しです。

**(不動産賃貸事業)**

**Q 5. 不動産賃貸事業の上期営業利益は通期計画に対し62%の進捗と好調ですが、下期の動向はどう考えていますか。**  
(決算説明会資料 p45)

A 5. 上期は入居率が計画以上に推移しましたが、9月末時点で前年を0.09%下回る入居率となっていることから、不動産賃貸事業の下期営業利益は昨年を下回る見通しです。

Q 6. 新築空室が増加している一部エリアで行っている家賃割引の具体的な事例および割引をしている物件の割合について教えてください。

A 6. 一部エリアにおいて、10～20%程度の一時的な賃料調整を行う物件がありますが、全体の数%とごくわずかです。

(不動産開発事業)

Q 7. 海外事業の今後の拡大イメージについて教えてください。  
(決算説明会資料 p37)

A 7. 来期売上は70億円を計画しています。なお、ロサンゼルス山火事により一時的に影響がありましたが、現在では事業に支障がない状況です。

Q 8. ドバイへ投資されたと思いますが、今後の事業拡大イメージについて教えてください。

A 8. ドバイの市場性の把握と投資利益の確保を目的に、1 案件への投資を行いました。今後については、投資結果を踏まえて検討していく予定です。

(その他)

Q 9. ROE 20%達成に向けた施策の検討状況について教えてください。

A 9. 保有資産の売却により達成したいと考えていますが、足りない部分は自己株式の取得を検討したいと考えています。

Q 10. 保有資産の売却交渉の進捗について教えてください。

A 10. 海外ホテルについては、交渉継続中です。その進行状況も踏まえ、国内保有資産の売却についても検討してまいります。

以上